

digital

TV TOKYO Corporation
デジタル・セブン



TV TOKYO

digital 7ch

2008年冬号
第41期 中間報告書
2008.4.1~2008.9.30

Special Feature

特集

15年間高視聴率をキープ!
開運! なんでも鑑定団

41
interim



1 2009年3月期 第2四半期
連結財務ハイライト
Financial Highlights

2 株主の皆様へ
To Our Stakeholders

4 テレビ東京のCSR活動
CSR Information

5 事業概況
Update

8 デジタル7chキャンペーン
Topics

9 特集「開運!なんでも鑑定団」
Special Feature

11 財務データ (2009年3月期 第2四半期決算)
Financial Data

12 会社情報
Corporate Information

14 株式情報
Stock Information

Financial Highlights

☀ 2009年3月期 第2四半期連結財務ハイライト(2008.4.1~2008.9.30)

	2009年3月期 第2四半期 実績(累計)	前年同期比
売上高	597 億 18 百万円	1.0 % 増
営業利益	2 億 57 百万円	85.7 % 減
経常利益	2 億 85 百万円	85.8 % 減
四半期純損失	△3 億 94 百万円	—

売上高
単位：億円



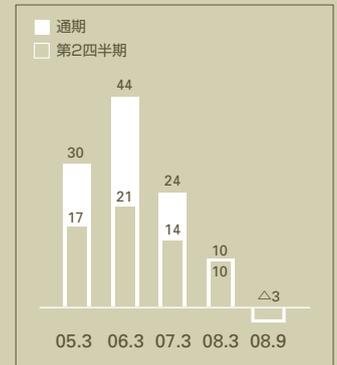
営業利益・売上高営業利益率
単位：億円 / %



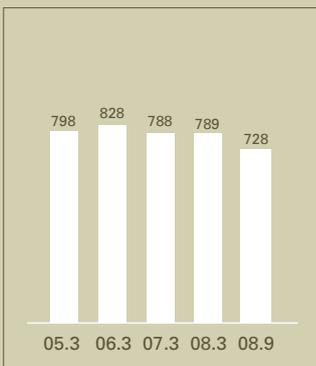
経常利益
単位：億円



四半期(当期)純利益
単位：億円



総資産
単位：億円



純資産・自己資本比率
単位：億円 / %



1株当たり純資産
単位：円



	ゴールデンタイム 19:00~22:00	プライムタイム 19:00~23:00	全日平均 6:00~24:00
視聴率	7.9 %	7.5 %	3.5 %
前年同期比	0.4 POINT DOWN	0.3 POINT DOWN	0.2 POINT DOWN

当冊子の表記について 当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当冊子では利便性を考慮し、以下を取り決めました。
 ■損益関連数値については、期初からの「累計値」を用いています。
 ■当四半期の財務情報と前年同期の財務情報とは会計基準や用語表現などが異なります。しかし前年と比較しやすいよう、主要数値については「ご参考値」として併記しています。その際、前年同期(中間期)以前については「第2四半期」と記述しています。

To Our Stakeholders

☀ 株主の皆様へ



代表取締役会長 菅谷 定彦 左

代表取締役社長 島田 昌幸 右

**広告市況低迷の今こそ、番組制作力の強化に取り組みます。
多くの視聴者に支持され、広告主の期待に応える番組を生み出すことで、
収益力と企業価値を向上させてまいります。**

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

2008年度第2四半期連結累計期間(2008.4.1~2008.9.30)の業績をご報告するにあたり、皆様の日頃のご支援に心から御礼申し上げます。

当第2四半期の日本経済は、アメリカ発の金融危機の影響が深まる中で下押し圧力が強まり、先行き不透明感が広がっています。このような状況で当社グループの連結決算

は、北京オリンピックの開催が増収につながりましたが収支面では増益とはならず、広告市況の低迷によるスポット収入の大幅な減少もあったことから連結売上高は597億1千8百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は2億5千7百万円(同85.7%減)、経常利益は2億8千5百万円(同85.8%減)となりました。また、株式市況の低迷に伴い投資有価証券の評価損を計上したため、四半期純損失は3億9千4百万円となりました。

自動車、食品などの製造業を中心とする広告主の業績が悪化しており、広告市況においては変動的要素の強いスポットCM*のみならず、固定的要素の強いタイムCM*にも影響が広がっています。下期のタイム収入は予想を大幅に下回る見込みであり、利益確保のために番組制作費を中心とするコストコントロールを続けておりますが、通期の業績予想は下方修正せざるを得ず、連結売上高は1,182億1千1百万円(前回予想比44億1千7百万円減)、営業利益は6億7千2百万円

* スポットCM、タイムCMについては5ページをご覧ください。

To Our Stakeholders

☀ 株主の皆様へ

**テレビ局の利益の源泉は「番組」です。
ヒット番組の利益と制作ノウハウが
次のヒット番組を作り出すという
好循環を増大させることで、
「最良にして最強のキー局」を目指します。**

(同24億2千4百万円減)、経常利益は7億2千5百万円(同25億8千8百万円減)とし、最終損益については1億5千2百万円(同20億3千5百万円減)の当期損失の計上を見込んでおります。

この業績予想の修正に伴い、まことに遺憾ではありますが株主様への配当も減額させていただきます。中間配当金は1株当たり15円から5円減額し10円とさせていただきます。また、期末配当金につきましても1株当たり10円として年間配当額は20円とさせていただきます。このような事態を鑑み、7月から役員報酬を減額しております。会長・社長は20%減額、専務・常務は15%減額、その他の取締役は10%減額を続けております。

2008中期経営計画で「ヒット番組の開発」を重点施策としておりますが、視聴率は、ゴールデンタイム7.9%(前年同期比0.4ポイント減)、プライムタイム7.5%(同0.3ポイント減)、全日平均3.5%(同0.2ポイント減)となり、残念ながら3部門とも前年同期を下回りました。

NHKが北京オリンピックや大河ドラマなどで視聴率を伸ばした結果、テレビ東京が得意とする視聴者層が影響を受けたと分析しております。

そのような中でも個々の番組は高く評価されており、山田太ードラマスペシャル『本当と嘘とテキトー』が日本民間放送連盟賞テレビドラマ番組部門 最優秀賞を受賞するなど、数番組が各賞を受賞しました。

日本経済は不透明感を増し、広告市況の回復時期も見通せない中ですが、当社グループはデジタル時代の「最良にして最強のキー局」を目指し、2008中期経営計画

で「挑戦」と「改革」を全社目標のキーワードに、収益の向上と企業価値の増加に取り組んでおります。

取り組みの成果は着実に現れており、営業面では、特色あるインフォーマーシャル企画を開発しております。

**インフォーマーシャル企画や
放送直後のネット配信など
収益力を高める取り組みの
成果が現れています。**

新番組『ロボつく』は、ロボットを通じて小中学生から科学への興味を引き出す番組ですが、番組では「技術屋 清水さんの挑戦」(清水建設提供)というインフォーマーシャルを放送しています。また、異業種が共同でコラボレーションインフォーマーシャルを制作する『フレンドシップ・プロジェクト』を引き続き展開しております。

映画出資事業では、夏の映画が堅調でした。劇場版ポケットモンスター『ギラティナと氷空の花束シェイミ』は興行収入47億円、動員456万人。9月13日から公開している幹事作品『パコと魔法の絵本』も好調で、22億6,000万円、184万人を記録しております。

IT分野においても、新たなビジネスの可能性を模索するため、新番組のディズニーアニメ『スティッチ』を、放送直後に有料でインターネット配信しております。放送直後の

アニメ番組本編の配信は民放キー局として初めてです。

通期の最終損益で当期損失を見込む中で、利益確保のために番組制作費を中心としたコストコントロールに取り組んでおります。本年の番組制作費は当初計画から27億5千万円圧縮しておりますが、当社の事業規模に対して、いたずらに番組制作費を圧縮することは企業体力を毀損する恐れがあります。

業績向上は火急の課題であります。このような時こそ王道に立ち返って番組制作力の強化に努めます。テレビ局の利益の源泉は「番組」です。多くの視聴者に愛され、広告主に信頼される番組を生み出すことで業績向上の突破口を開きます。ヒット番組がもたらす利益が次のヒット番組を作り出す原資になるという好循環を生み出すような、足腰の強いタイムテーブルの構築が、今のテレビ東京には必要だと考えております。

株主の皆様には今後の事業運営にご理解いただくとともに、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

代表取締役会長

菅谷定孝

代表取締役社長

島田昌幸



CSR Information

☀ テレビ東京のCSR活動

テレビ局だからこそできる社会貢献活動とは何だろう

「報道機関として世界の現実をありのままに伝えることは責務である。伝えるだけでなく、番組をきっかけに社会貢献ができればどんなにすばらしいだろうか。」

テレビ東京は、08中期経営計画でCSR(=企業の社会的責任)の推進を掲げています。視聴者の皆様とテレビ東京が、社会貢献という形で繋がる方法を考えてまいります。



「ポケットの100円玉で世界の苦しんでいる子供達を救えるとしたら? 地球の明日を変えられるとしたら? あなたの100円玉を貸してくれませんか?」

この番組が提案したのは、日本では缶ジュース1本さえも買えない100円で世界の子供達が置かれている厳しい状況を変えていこうということです。「わずかなお金でも、みんなが参加すれば世界は変わるかもしれない」と番組を通じて訴えました。番組の趣旨に賛同して“100円玉募金”に協力してくれる学校や団体を募集し、実際に彼らが集めてくれたお金を番組の中で世界の子供達のために使わせていただきました。

TITLE 2008年8月27日放送

100円玉に愛をこめて 2 ☆世界の子どもたちのために☆



「世界中にある“驚きの数字”から見てくる世界と日本の真実!」

番組では、世界では1億8,600万人以上の子供達が働いていて、その60%にあたる1億1,100万人が危険で有害な仕事をしている現実を紹介。過酷な状況に置かれた子供達を一人でも多く助けるために、ユニセフと協同し、番組内およびホームページにて募金の呼びかけを行いました。お寄せいただいた募金総額は65万3,631円。お預かりした募金は、ユニセフを通じて、子供達の命と健やかな成長を支援する事業に活用されます。

TITLE 2008年6月16日放送

世界驚愕リサーチ 数字は嘘をつかない!



「バラエティ番組でも社会貢献活動がしたい!」そんな思いが番組のコンセプトです。

“浅尾美和が地獄の1000球レシーブに挑戦!”、“東国原英夫知事が400mリレーでハーフマラソン世界記録を超える!”…など有名人が過酷な課題に挑戦し、頑張る姿に感動したら募金が集まるシステム。つまり番組そのものを視聴者の皆様から募金をお寄せいただくための「エンターテインメントショー」にしました。

お預かりした募金総額は382万5,268円。東国原知事が出演するコーナーに集まった募金は宮崎緑化推進機構に寄付、その他は毎日新聞MOT TAINAIキャンペーン事務局に寄託し、グリーンベルト運動に送っていただきました。

TITLE 2007年12月21日放送

みんなで応援バラエティ THEぼきんショー

Broadcasting Business

事業概況

放送収入のうちタイム収入は、特番部門で北京オリンピックがあり、また、ローカル部門で通販番組のセールスが増えたものの、ネット部門でプライムタイムのセールスが振るわなかったため、タイム収入全体では282億4千2百万円、前年同期比2.1%の減収となりました。一方、スポット収入は、東京地区全体が低調なことに伴い、運輸・自動車・食品・薬品等の業種が低調だったことから121億6千1百万円、前年同期比10.4%の減収となりました。タイム・スポットトータルでは404億4百万円、前年同期比4.8%の減収となりました。BS収入は9億5千5百万円、前年同期比7.0%の減収となりました。

国内番組販売は、販売先放送局のオリンピック編成の影響を受けることなく順調に推移し、22億9千5百万円、前年同期比1.3%の増収となり好調でした。

費用面では、売上減少に伴い代理店手数料が減少したものの、オリンピックの開催により番組制作費等が増加し、営業費用全体では510億3千7百万円で、1千4百万円の増加となりました。

以上の結果、放送事業の売上高は510億8千万円、前年同期比1.9%の減収となり、営業利益は4千2百万円、前年同期比96.0%の減益となりました。

Promotional Pictures



和風総本家



カンプリア宮殿



新説!? 日本ミステリー



ガイアの夜明け

What's TV?

○ タイム収入

タイムCM(原則30秒)による収入。タイムCMとは特定の番組を提供するCMのことで、広告主は番組の制作費・電波料を負担します。系列局を通じてCMを放送するネット部門と、当社の放送エリア(1都6県)のみCMを放送するローカル部門に区分されます。

○ スポット収入

スポットCM(原則15秒)による収入。スポットCMとは番組と番組の間に放送するCMなどのことです。CMの放送は当社の放送エリアのみに限られます。

○ 番組販売

当社の番組を他の放送局に販売すること。系列局以外にも番組を販売しており、系列ネットワークがカバーする地域外でも当社の番組は視聴されています。

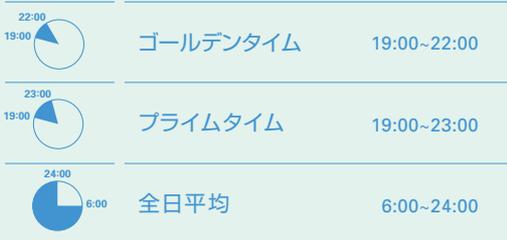
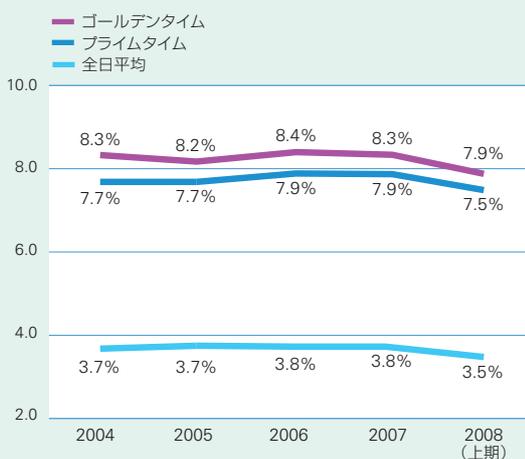
番組編成

2008年度上期の部門別平均視聴率はゴールデンタイム7.9%(前年同期比0.4ポイント減)、プライムタイム7.5%(同0.3ポイント減)、全日平均3.5%(同0.2ポイント減)でした。シェア(占拠率)で見ると、ゴールデンタイムが歴代7位、プライムタイムが歴代3位、全日平均が歴代5位タイとなりました。

ゴールデンタイム・プライムタイムに関しては、「和風総本家」、「カンパリア宮殿」が前年同期比1.0ポイント以上の増加となったほか、「新説! ?日本ミステリー」、「ガイアの夜明け」、「ミリオン家族」、「主治医が見つかる診療所」などが前年同期を上回りました。一方、「ペット大集合! ポチたま」、「BLEACH」、「木曜洋画劇場」などが前年同期を下回りました。

特番では「元祖! 大食い王決定戦 新爆食伝説誕生戦」が12.9%を獲得したほか、「解禁! ○○女をのぞき見SP〜これが私の生きる道〜」(11.4%)、「第39回夏祭りにつぼんの歌」(11.0%)、「ウソかホントかわからない やりすぎ都市伝説〜禁断の七不思議SP」(10.7%)などが高視聴率をとりました。

※ 視聴率の推移



※ 高視聴率番組

レギュラー番組

レギュラー・シリーズの重複を除く

放送日	視聴率 (%)
08.6.3 (火) 20:54~	17.4
08.7.18 (金) 20:00~	13.4
08.9.20 (土) 21:00~	12.3
08.5.14 (水) 21:00~	12.0
08.5.31 (土) 19:00~	11.9

特別番組

放送日	視聴率 (%)
08.9.28 (日) 19:00~	12.9
08.8.25 (月) 20:00~	11.4
08.7.4 (金) 19:00~	11.0
08.7.25 (金) 21:00~	10.7
08.6.1 (日) 21:00~	10.5

License Business

事業概況

ソフトライセンス収入のうち、アニメライセンス事業では「NARUTO」、「ケロロ軍曹」が順調に推移し、増収となりました。ライセンス事業では「モヤモヤさまぁ〜ず2」など若者向け一般番組のDVDがヒットしましたが、前年の「やりすぎコージー」DVDの好調には及ばず減収となりました。映像事業は「劇場版ポケットモンスター2007」が好調で増収となりました。また、原盤に出資している「青山テルマ」が2008年オリコン上半期シングルチャート第1位を獲得するなど(株)テレビ東京ミュージックの音楽出版事業も好調に推移しました。この結果、ソフトライセンス収入全体としては88億2千8百万円、前年同期比21.6%の増収となりました。

イベント収入は、フィギュアスケート「JAPAN OPEN 2008」、「D1 グランプリ TOKYO DRIFT IN お台場」等が好調となり、6億7千2百万円、前年同期比23.1%の増収となりました。

以上の結果、ライセンス事業の売上高は95億1百万円、前年同期比21.7%の増収となりましたが、営業利益は2億9千4百万円、前年同期比66.6%の減益となりました。

Promotional Pictures



NARUTO-ナルト-疾風伝
©岸本斉史 スコット/集英社 テレビ東京・びえる
©劇場版NARUTO製作委員会2007



モヤモヤさまぁ〜ず2 「DVD VOL. 1 伝説のお正月SP」、
「DVD-BOX VOL. 2&VOL. 3」



劇場版ポケットモンスター2007
ダイヤモンド&パール ディアルガVSバルキアVSダークライ
©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku
©Pokémon ©2007ピカチュウプロジェクト



フィギュアスケート
「JAPAN OPEN 2008」

What's TV?

○ ライツ事業

ソフトライセンス部門

● 放送番組の周辺権利を利用した事業

放送番組のビデオ化や海外販売、玩具の商品化などを通じて収益を上げる事業

● 映画出資事業

映画への出資により、興行収入やビデオ化、放映権の販売などを通じて収益を上げる事業

● 音楽著作物等の管理

音楽著作物の企画、制作、管理に係る事業、保有する映像素材などの販売事業等

イベント部門

スポーツ競技や文化イベントの主催などにより収益を上げる事業

Topics

☀ デジタル7chキャンペーン

12ch → 7ch

旧社名である“東京12チャンネル”から慣れ親しんでいた“テレビ東京=12チャンネル”も、2011年の完全デジタル化に伴うチャンネル番号の変更によって、これからは「テレビ東京は地上デジタル7チャンネル」に変わります。地上波放送の完全デジタル化については官民挙げてのキャンペーンを推進中ですが、テレビ東京も2008年7月を「デジタル7chキャンペーン強化月間」として、「テレビ東京は地上デジタル7チャンネル」を周知するために、スポットCMの放送、番組と連動したキャンペーンなどを行いました。

TOPICS 1 7chキャンペーンマーク

「テレビ東京は地上デジタル7チャンネル」をわかりやすく伝えるためキャンペーンマークを決定。各種キャンペーンや、CM明けのムービングキャッチにも利用しています。



画面はイメージです



TOPICS 2 「テレビ東京は地上デジタル7チャンネル」を周知するスポットCM

普段あまりお目にかかることのない社内風景や、番組の収録風景などをベースにした様々なパターンのスポットCMを放送。



TOPICS 3 番組でも“テレビ東京=7ch”をPR

写真は「プロボクシング4大世界タイトルマッチ3時間ぶち抜きSP!!」(2008年9月15日放送)の、7chキャンペーンマークをデザインしたボクシングマット。様々な番組で地デジ7chをPRします。



July

徐々に認知がすすんでいる「地上波放送の完全デジタル化」と「テレビ東京=7ch」。2008年3月のインターネットアンケートでは20.9%だった「テレビ東京は地上デジタル7チャンネル」の認知度が、キャンペーン後の8月には29.7%と大幅に上昇しました。また、「地上デジタル放送でチャンネル番号が変わることを、何で知りましたか?」との問いには、54%の人がテレビ東京の番組やCMで知ったという結果が出ました。2011年の完全デジタル化はもうすぐ。今後も「地上デジタル化」と「テレビ東京は地上デジタル7チャンネル」を知っていただくため、キャンペーンを継続してまいります。



Special Feature
特集

15年間高視聴率をキープ! 開運! なんでも鑑定団



番組の歴史と人気の訳

『開運! なんでも鑑定団』は1994年4月19日にスタートし、放送第1回目の視聴率は5.4%でした。しかし放送第4回で10%に乗った後は順調に数字をのばし、放送開始から1年後の1995年4月18日には21.7%と初めて20%を突破。1996年6月11日には最高視聴率となる23.7%を獲得しました。2008年度上期も平均14.4%と高視聴率を獲得しています。

この番組はコピーや偽物が氾濫する現代にあって、様々な角度からの「鑑定」をエンターテインメントとして楽しむ番組で、価値インフレのバブルが崩壊し、モノの持つ本当の価値は?という五里霧中な社会環境に登場した鑑定バラエティ番組です。古美術からアイドルのテレホンカード・お菓子のオマケ・パービー人形・切手・コイン・化石等々どんなものでも、番組に持ち込まれば、そのお宝の真贋・正体・価値を鑑定。そして一番気になる〈価格〉を明らかにする。

持ち主がその結果を知って、自己評価額との差に歓声をあげて喜んだり、はたまた声もかけられないほどがっかりしたりする様がスタジオで展開する。もちろん、お宝の発見の様子や持ち主の溺愛する様子などエピソードの取材VTRも紹介していく。さらにお宝の解説VTRについても、美術史上におけるポジションなど教養番組のクオリティを持たせている。そうした要素が相乗的に働いて多くの方から共感をいただいております。



開運! なんでも鑑定団

放送 毎週火曜日 20:54~

出演 島田紳助・石坂浩二・吉田真由子

視聴者やゲストのお宝を鑑定し、金銭的価値や歴史的・資料的な価値を解説。依頼者のお宝に対する思い入れや鑑定結果に一喜一憂する表情など人間味あふれる内容で、鑑定品や作者の解説など教養番組的な側面も追求している。

番組プロデューサーよりひとこと

人気の秘密は「変わらないこと」ですが、お宝の新しいジャンルには取り組みたいですね。



2008年9月9日放送で700万円の鑑定額がついたガラモンのソフビ人形

Q1 高視聴率の長寿番組ですが、最初はどうでしたか？

この番組は1994年にスタートし、今年で15年目になりますが、初回の視聴率は5.4%でした。4回目以降に2桁になり、1年後には20%台というオバケ番組になりました。新番組の立ち上げとしては、そこそこのスタートで、とくに年輩の方々からご支持をいただき、視聴率を伸ばしてきました。



制作局 CP制作チーム
プロデューサー 協坂清人

Profile

1987年入社。制作局に配属。以後「いい旅夢気分」「テレビチャンピオン」などの情報番組のディレクターを経て、マジシャンゼロ・江原啓之などの特番プロデューサーを担当。現在は「開運! なんでも鑑定団」のプロデューサー。

Q2 長年にわたる人気の秘密は？

番組づくりで一番大切にしているのが「変わらないこと」です。ご支持をいただいている熟年層の方々、一度見て評価していただくと、2回、3回とずっと見ていただいているようです。お宝が本物なのか贋物なのか、親から子へお宝を引き継いでいく愛情的なエピソードなど、そうした期待を裏切らないという意味で変えずに続けています。

Q3 司会のお二人も番組に欠かせない不変の存在ですね。

番組がここまで成功したのは、紳助さんの依頼者の人間的な部分をくすぐるトークと、石坂さんの非常に博学で知的なトークが絶妙のコンビネーションで番組を盛り上げてきたからだと思えます。鑑定士の皆さんも司会のお二人同様に欠かせない存在になっています。

Q4 出張鑑定は自治体から大人気だそうですか？

市制何十周年といった行事にお呼びいただくことが多く、たくさんの市町村から出張鑑定のご依頼を頂戴しています。地方へ行くと先祖代々のお宝を持っていらっしゃる方がいるのですが、その家宝ともいえるお宝に際強い思い入れを持っている方が多く、出張鑑定はいつも大変な盛り上がりです。

Q5 印象に残っているお宝や人物はありますか？

スペシャルなどに何回も出ていただいた資産家の方です。田畑を売っては骨董蒐集をしているのですが、そのほとんどが贋物をつかまされています(笑)。誰がどう見ても贋物だとわかりそうなものを買って、鑑定結果で贋物だとわかって、いつもニコニコしているという凄腕の方です。

お宝では700万円の鑑定額がついた怪獣のソフビ人形ですね。どこの家にもあったオモチャなどの高額鑑定には夢があると思います。一度、家の物置を探してみたくになりますよね。

Q6 番組の今後についてお聞かせください。

「変わらないこと」にはこだわりながらも、新しいものを発掘する必要はあると思っています。お宝の新ジャンルや海外に流出したお宝の発掘です。それも、家庭にあるようなお宝ではなく日本のお宝といったものを発掘したいですね。この番組にはこれまでの史実を変えるようなお宝が何度も登場しました。歴史的な人物の意外な一面が、お宝として登場したその人物の手紙から想像できることもありました。そういう歴史的に意義のある部分も含めて、皆様に楽しんでいただけるよう末永く続けていきたいと思っています。



高額鑑定ベスト5 ※鑑定額は放送時点のものです。

1	柿右衛門様式のツボ	5億円
2005年9月放送		
2	台湾工芸品3点	3億5,000万円
2001年4月放送		
3	モンロー衣装	2億円
2004年4月放送		
4	西洋アンティーク各種	1億9,400万円
2003年9月放送		
5	七宝焼の香炉	1億8,000万円
2005年4月放送		



これまでに「鑑定団」で発見されたお宝

岡本太郎の未発表デッサン

岡本太郎が戦地で描いたもの。戦友に配ったもののひとつが 2001年4月放送
発見された。岡本の空白期を埋める貴重な作品。

三木露風の未発表作

露風の養子が持っていた。実家の蔵から発見された。 2001年7月放送

紺紙銀字華厳経

奈良時代に全60巻が作られたが、江戸時代の火事で 2002年1月放送
ほとんど焼失したものの1巻が、完全な形で発見された。

戦艦大和の腰掛け

広島島の廃材置き場から拾われたお宝。 2002年6月放送
戦艦大和の中に置かれていた腰掛けと判明した。



楽しさ満載の収録現場

『開運! なんでも鑑定団』の収録時間は約1時間。収録自体がひとつのショーとして楽しめる内容なので番組観覧も人気があります。番組参加の視聴者がひな壇に着くと漫才で盛り上げながら拍手や掛け声の練習が始まり、鑑定士登場、石坂さん・島田さん登場でムードが最高潮を迎えたところで本番に。この日の収録では日本のボクシング史の原点といえるポスターや樞の根に高額鑑定がつき大いに盛り上がりしました。



会場驚きの高額プライズ!

本番前に漫才で盛り上げ

Financial Data

財務データ(2009年3月期 第2四半期決算)

連結業績のご報告

(第2四半期:2008年4月1日から2008年9月30日まで)

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2008年 9月30日現在	2007年 9月30日現在	2008年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	41,394	42,395	46,639
固定資産	31,458	32,486	32,342
有形固定資産	15,693	15,918	16,247
無形固定資産	1,093	947	1,131
投資その他の資産	14,671	15,619	14,964
資産合計	72,852	74,881	78,982
(負債の部)			
流動負債	19,249	19,649	24,609
固定負債	3,444	3,299	3,430
負債合計	22,693	22,948	28,039
(純資産の部)			
株主資本	49,227	50,206	49,923
資本金	8,910	8,910	8,910
資本剰余金	8,684	8,684	8,684
利益剰余金	31,633	32,612	32,329
自己株式	△1	△0	△1
評価・換算差額等	△90	866	74
少数株主持分	1,021	859	944
純資産合計	50,158	51,932	50,942
負債純資産合計	72,852	74,881	78,982

単体業績のご報告

(第2四半期:2008年4月1日から2008年9月30日まで)

四半期貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2008年 9月30日現在	2007年 9月30日現在	2008年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	38,593	39,366	43,279
固定資産	30,852	31,538	31,983
有形固定資産	15,193	15,478	15,809
無形固定資産	1,028	951	1,105
投資その他の資産	14,631	15,109	15,069
資産合計	69,446	70,905	75,263
(負債の部)			
流動負債	22,933	22,697	27,810
固定負債	2,707	2,606	2,667
負債合計	25,641	25,304	30,477
(純資産の部)			
株主資本	43,877	44,749	44,706
資本金	8,910	8,910	8,910
資本剰余金	8,684	8,684	8,684
利益剰余金	26,283	27,155	27,112
自己株式	△1	△0	△1
評価・換算差額等	△72	851	79
純資産合計	43,804	45,601	44,785
負債純資産合計	69,446	70,905	75,263

四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2008年4月1日~ 2008年9月30日	2007年4月1日~ 2007年9月30日	2007年4月1日~ 2008年3月31日
売上高	59,718	59,130	121,645
売上原価	44,587	42,109	87,451
売上総利益	15,131	17,020	34,194
販売費及び一般管理費	14,873	15,218	31,152
営業利益	257	1,801	3,041
営業外収益	166	282	468
営業外費用	138	64	689
経常利益	285	2,019	2,819
特別利益	8	0	92
特別損失	388	40	303
税金等調整前四半期(当期)純利益	△93	1,979	2,608
法人税、住民税及び事業税	637	695	1,135
法人税等調整額	△425	224	302
少数株主利益	88	30	115
四半期(当期)純利益	△394	1,028	1,055

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2008年4月1日~ 2008年9月30日	2007年4月1日~ 2007年9月30日	2007年4月1日~ 2008年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	281	△48	3,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,973	△2,403	△4,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,034	△690	954
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	1	△1
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△2,729	△3,142	△83
現金及び現金同等物の期首残高	8,627	8,711	8,711
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,897	5,569	8,627

四半期損益計算書(要約)

(単位:百万円)

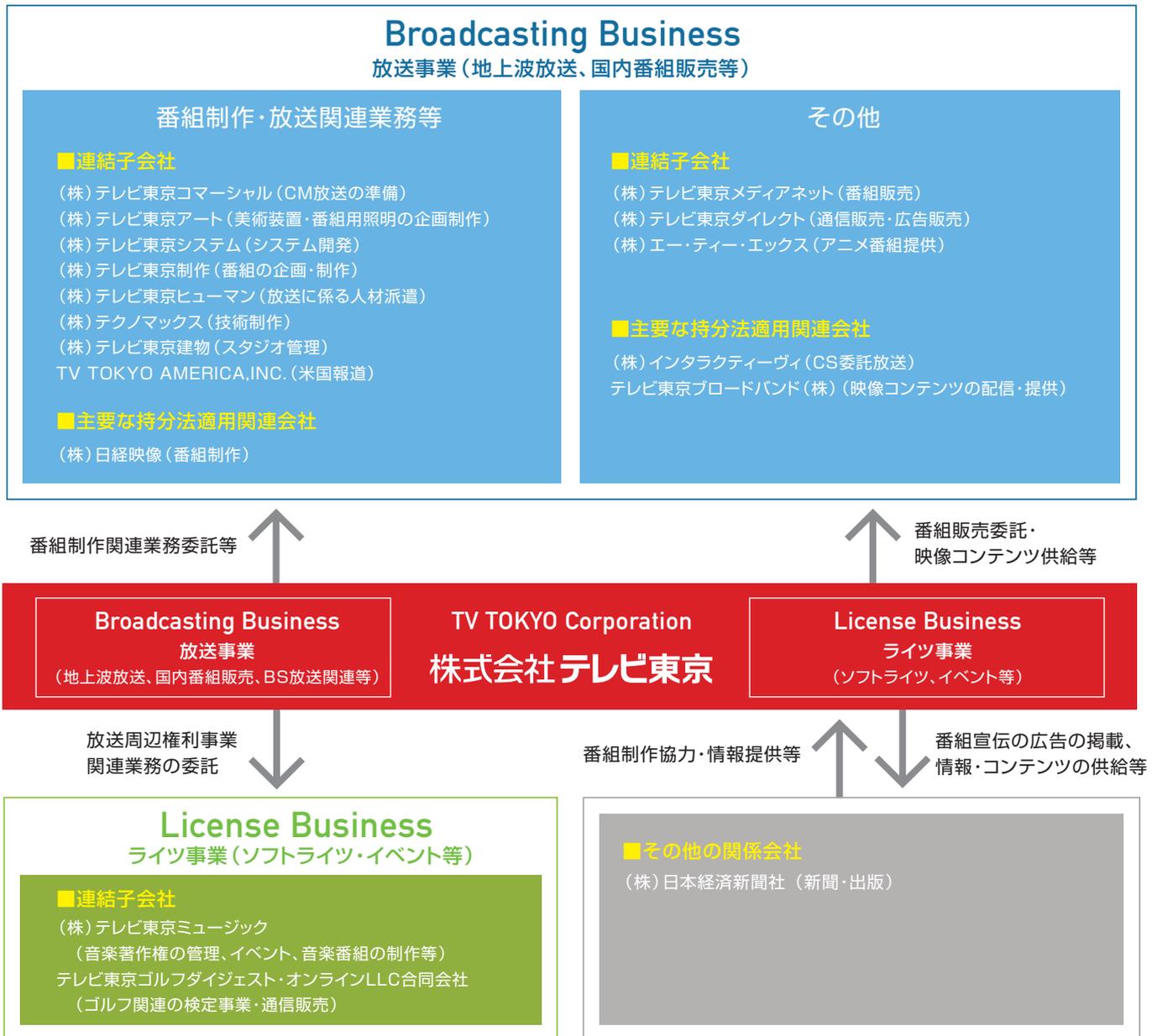
	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2008年4月1日~ 2008年9月30日	2007年4月1日~ 2007年9月30日	2007年4月1日~ 2008年3月31日
売上高	53,535	53,912	110,184
売上原価	40,045	37,990	78,453
売上総利益	13,490	15,922	31,730
販売費及び一般管理費	14,675	14,984	30,386
営業利益	△1,185	937	1,343
営業外収益	771	939	1,145
営業外費用	124	53	105
経常利益	△537	1,823	2,384
特別利益	8	0	92
特別損失	376	38	201
税引前四半期(当期)純利益	△905	1,785	2,274
法人税、住民税及び事業税	36	280	391
法人税等調整額	△403	242	354
四半期(当期)純利益	△538	1,262	1,529



Corporate Information

☀ 会社情報 (2008年9月30日現在)

テレビ東京グループ



Corporate Information

☀ 会社情報(2008年9月30日現在)

会社の概要

会社名 株式会社 テレビ東京
(TV TOKYO Corporation)
本店所在地 〒105-8012
東京都港区虎ノ門4-3-12
URL www.tv-tokyo.co.jp
開局 1964年4月12日
呼出符号 JOTX-DTV (デジタル7チャンネル)
JOTX-TV (アナログ12チャンネル)
資本金 89億1,095万円
従業員数 連結1,330名、単体692名

主な事業所

本社・スタジオ(東京都港区)
天王洲スタジオ(東京都品川区)

支社・支局

関西支社 / 名古屋支社 / ニューヨーク支局 /
ワシントン支局 / ロンドン支局 / モスクワ支局 /
香港支局 / ソウル支局 / 北京支局 / 上海支局

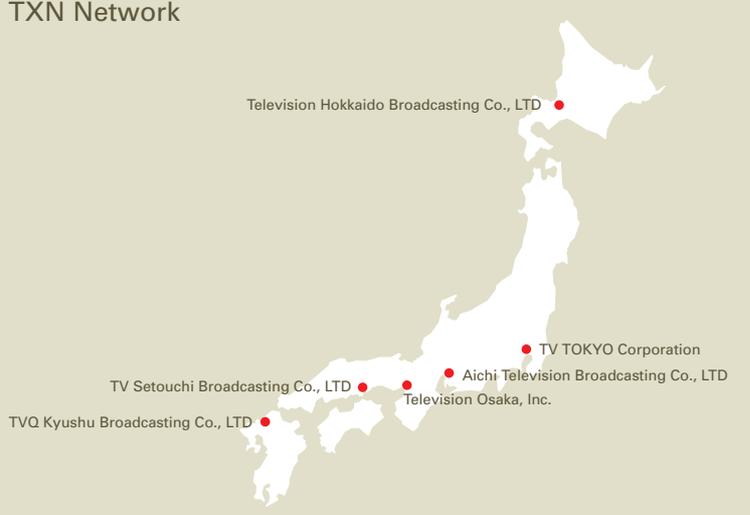
役員

代表取締役会長	菅谷 定彦	
代表取締役社長	島田 昌幸	
専務取締役	箕輪 新一	経理、内部統制担当
常務取締役	犬飼 正	技術局、システム開発室担当 兼 番組情報基盤整備担当
	石川 博	メディア事業推進本部長
	菊池 悟	営業局担当 兼 BS業務推進本部長
	藤延 直道	編成局、制作局、報道局、スポーツ局担当 兼 BS業務推進本部長補佐
	張替 正美	秘書室、総務局、人事局担当 兼 労務担当
	神田 忠慶	ネットワーク局長
	深沢 健二	経営戦略局、関連企業統括室、 コンプライアンス統括室担当
取締役	佐々木 彰	ドラマ制作室担当 兼 統括プロデューサー
	今泉 至明	特命事項担当
	高島 政明	経理局長
	三宅 誠一	経営戦略局長 兼 関連企業統括室長
	田村 明彦	営業局担当補佐 兼 BS業務推進本部長補佐
	斎藤 史郎	株式会社日本経済新聞社 専務取締役
	中地 宏	監査法人ナカチ 会長・代表社員
常勤監査役	奥川 元	
監査役	出原 達夫	
	野村 尚宏	株式会社日本経済新聞社 常務取締役
	荒木 浩	東京電力株式会社 顧問
	齋藤 宏	株式会社みずほコーポレート銀行 取締役頭取

(注) 1.取締役 斎藤史郎、中地宏の両氏は社外取締役です。
2.監査役 野村尚宏、荒木浩、齋藤宏の3氏は社外監査役です。

TXNネットワーク

TXNネットワークは、テレビ東京をキー局として系列を組み、ネットワークを構築しています。
6局で構成された効率的なネットワークは、全国視聴可能世帯の67.5%をカバーしています。

テレビ大阪株式会社 〒540-8519 大阪市中央区大手前1-2-18 www.tv-osaka.co.jp	TXN Network 
テレビ愛知株式会社 〒460-8325 名古屋市中区大須2-4-8 www.tv-aichi.co.jp	
テレビせとうち株式会社 〒700-8677 岡山市柳町2-1-1 www.webtsc.com	
株式会社テレビ北海道 〒060-8517 札幌市中央区大通東6-12-4 www.tv-hokkaido.co.jp	
株式会社TVQ九州放送 〒812-8570 福岡市博多区住吉2-3-1 www.tvq.co.jp	



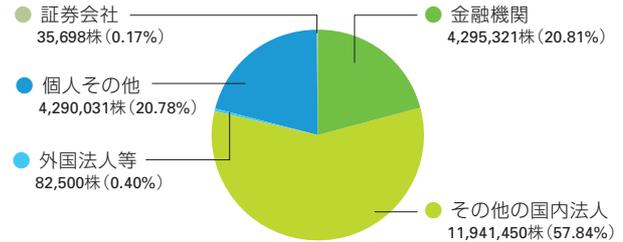
Stock Information

☀ 株式情報 (2008年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	82,580,000株
発行済株式総数	20,645,000株
株主数	3,516名
単元株式数	100株

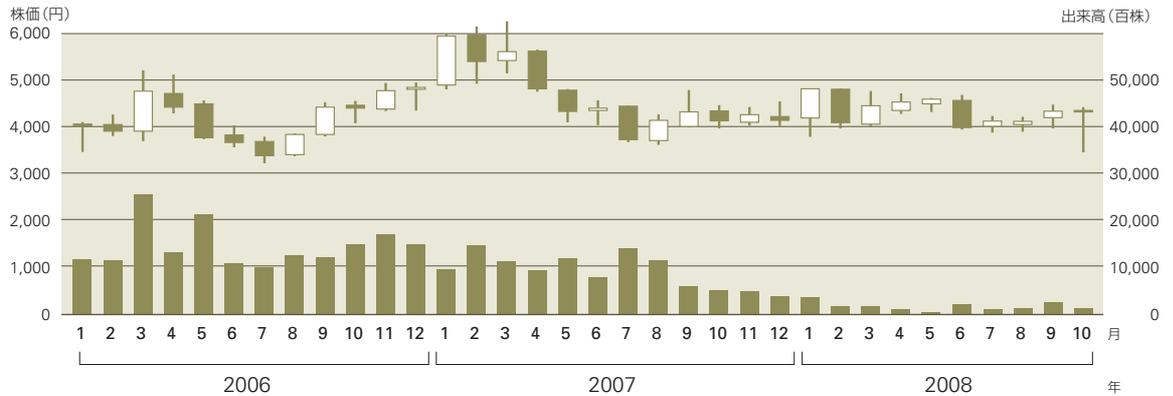
所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	所有比率(%)
株式会社日本経済新聞社	6,881,950	33.33
糸山 英太郎	2,963,400	14.35
日本生命保険相互会社	1,036,150	5.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	984,300	4.77
株式会社みずほ銀行	600,040	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	590,500	2.86
東レ株式会社	518,050	2.51
株式会社毎日放送	518,050	2.51
三井物産株式会社	518,000	2.51
テレビ東京社員持株会	346,840	1.68

株価と出来高の推移



(注) 株価は東京証券取引所における各月の始値、高値、安値、終値を示しています。出来高は月の出来高の合計を示しています。

株主優待のお知らせ

株主の皆様にご理解いただくために、公開番組へ抽選でご招待しています。また、当社オリジナルクオカード(500円分)を謹呈しています。

毎年3月31日現在の所有株式
100株以上の株主様に対し

- 1 500円分のオリジナルクオカードを1枚謹呈
- 2 当社公開番組「夏祭りにっぽんの歌」に抽選でご招待

毎年9月30日現在の所有株式
100株以上の株主様に対し

- 1 500円分のオリジナルクオカードを1枚謹呈
- 2 当社公開番組「年忘れにっぽんの歌」に抽選でご招待

Web Information Shareholder Information

☀ ホームページのご案内／株主メモ

ホームページのご案内

Top Page

www.tv-tokyo.co.jp

番組情報をはじめ、当社が出資している映画・イベント情報など様々な情報をホームページでもご覧いただけます。



IR Page

www.tv-tokyo.co.jp/kaisha/ir

IR情報のページでは、毎月の売上実績、有価証券報告書などの各種報告書を掲載しています。
四半期ごとの決算説明会の様子を動画配信しています。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催（議決権の基準日は毎年3月31日）
剰余金の配当	株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
中間配当	中間配当を実施する場合は、取締役会の決議により、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	(平成20年12月30日まで) 〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7 (平成21年1月5日より) 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (変更ありません) 専用ホームページの“お手続き内容”で一部届出用紙の出力ができます。 http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/

お知らせ

平成21年1月5日より株券が電子化されます。そのため株式に関するお手続きに変更がある場合がございますのでご注意ください。詳しくは、上記「電話お問い合わせ先」にお問い合わせください。

なお、**証券会社等をご利用の場合は、住所変更や買取請求等は引き続きご利用の証券会社等へご連絡願います。**未払配当金については、上記「電話お問い合わせ先」にお問い合わせください。

また、株券電子化時に証券保管振替機構（ほぶり）へ預託せずに**特別口座に記載された株主様からの単元未満株式の買取請求、振替請求等は、特別口座管理機関としてのみずほ信託銀行の支店で請求等の取次をいたします。**

外国人等の
株主名簿への
記載制限

放送法に関連して、当社定款には次の規定があります。

【定款第12条】

当社は、次の各号に掲げる者（以下「外国人等」という。）のうち、第1号から第3号までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合と、これらの者により第4号に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が、当社の議決権の5分の1以上を占めることとなるときは、放送法第52条の8第1項及び第2項の規定に従い、外国人等の取得した株式について、株主名簿（実質株主名簿を含む。）に記載または記録することを拒むことができる。

- (1) 日本の国籍を有しない人
- (2) 外国政府またはその代表者
- (3) 外国の法人または団体
- (4) 前3号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体

お問い合わせ先

株式会社テレビ東京 総務局総務部
〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12 Tel. (代表) 03-5470-7777



地球環境に配慮した大豆油
インキを使用しています

本書は再生紙を使用しています。